



作文1部

優秀賞

## ごはんをたべます

男鹿市立船川第一小学校 一年 松<sup>まつ</sup>岡<sup>おか</sup>良<sup>よし</sup>乃<sup>の</sup>

わたしは、パンがだいすきです。あさは、しょくパンのみみをぎゆうにゆうに、チョンチョン、とつけてたべるのがおきにいりです。おかあさんはいつも

「ごはんをたべてね。」

といいます。パンがたべたいわたしは

「あしたもパンかってきてください。」

とおねがいでいます。

ところが、わたしのきもちがかわるできごとがありました。た。

五月におじいさんとおばあさんの田んぼをみにいきました。みどりのくさから、どうやっておこめがとれるかふしぎでしたが、なつやすみに田んぼにいくと、おこめのかたちが見えました。その日、わたしは夕ごはんのとき、ごはんのおかわりをしました。おばあさんは、

「いっぱいたべてくれてうれしい。」

といいました。おじいさんは、にっこりしました。にっこりしたおじいさんのおおをみてわたしもにっこり、うれしくなりました。それから、わたしはごはんをたべるのがすきになりました。それは、おじいさん、おばあさんが、あせみずながしながら、いっしょうけんめいおこめをそだてていることがわかったからです。おこめは一ねんをかけてそだてるとききました。

これからは、ごはんをたべておおきくなります。おじいさん、おばあさん、おいしいおこめをつくってくれて、ありがとう。

